



●発行日／2021年9月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

## 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

## 2022年度 東海大学付属推薦制度

特別奨励入学・特別技能推薦・特別学力推薦・学力推薦による

## 376名の推薦候補者決定、おめでとう

剣道部 3年 伊豆本 武蔵君 インターハイ出場!

TOP\*NEWS

2021年6月24日(木)ならびに教養学部芸術学科および医学部医学科の適性審査受検者対象に、7月8日(木)に2022年度東海大学付属推薦制度を利用した特別奨励入学推薦候補者の発表があり、今年度は35名の生徒が推薦候補者になりました。特別奨励入学制度は、高校1、2学年の学業成績の平均が7.5点以上かつ高校3学年の学園基礎学力定着度試験の学園順位が350番以内(5,086名受験)の生徒が対象になります。つまり、普段からしっかりと学習に取り組んでいる生徒が選出されることになります。

特別奨励入学の候補者に対しては、12月2日(木)の付属学校推薦型選抜合格者発表が行われると、正式に特別奨励入学者に決定して学業奨学金が付与されます。

高校1、2年生の皆さんも、ぜひ特別奨励入学を目指して頑張ってください。

以下に、第1回目の特別奨励入学候補者となった35名の皆さんを紹介します。



「特別奨励入学制度」で推薦候補者に選ばれた皆さん

**特別奨励入学候補者氏名(クラス順)**

浦塚 礼愛	芹沢ななみ	高野 伊吹	山田 理莉	阿部 隼翔	小柳虎太郎	渡辺 琳	高瀬 愛
横山 大翔	吉澤 賴郁	一宮万里河	原 七美	掛橋 勇希	小西 智也	中山 要	長谷川 新
松本 凌悟	高橋明日佳	遠藤 郁晃	小林 颯太	泉 昌志	岸川 大紀	木村 涼雅	立花 亮真
井上 莉音	山本 沙羅	楠 佳生	福島 直樹	湯浅 俊祐	渡辺 晓登	東泉 采利	伊藤 春輝
岡野 晴斗	関 大輝	藤井 武					



# 第13回 中等部体育祭開催

6月25日(金)に中等部体育祭が行われました。学年を超えて赤組・白組が団結し、応援・競技ともに白熱しました。

## 体育祭での学び

体育祭実行委員長 3年A組 竹内 海翔

僕は、今年の体育祭実行委員長となり、たくさんの思い出と経験を得ることができました。

今回の体育祭は僕たち3年生も二度目の体育祭となり、正直委員長としてしっかり仕事をすることができるかとても不安でした。しかし実行委員の仲間が一緒に支えてくれたこと、体育祭当日に生徒のみんなが見せてくれた笑顔にとても救われました。そこで僕はスポーツの力はすごいと改めて感じることができました。スポーツを通して味わえるさまざまな感情は、見ている人も実際に競技をしている人もどちらの表情も豊かにしてくれていました。そのため僕は、今回実行委員長になってよかったですと思いました。また、今回僕がこんな思いをできたのも、協力してくれた生徒の皆さん、実行してくださった先生方のおかげです。本当にありがとうございました。来年の体育祭は、今年以上になるよう頑張ってください。



## 全力で楽しんだ体育祭

3年A組 笛田 克弥

僕がこの体育祭で学んだことは、全力で楽しむことです。楽しむと言っても、ただ夢中になってふざけて楽しんで体育祭を台無しにするのではなく、全力で競技に出場している人を応援して、自分も緊張感を持って競技に出場することが大切だと思います。競技に勝てた時にとても嬉しくて、楽しいと思えたのは、みんなで全力で楽しめたからだと思います。ですが、総合的に負けてしまったので、この悔しさを忘れずに、自分もまだまだ未熟なところがあるので、堅実に努力をしたら結果もそれに伴って良い方向に行くと思うので、卒業までの残り数ヶ月を頑張りたいと思います。次の大きな行事は建学祭です。体育祭のように勝ち負けがつく行事ではないけれど、全力で楽しみたいと思います。

## 仲間

3年B組 小川 桔穂

私は体育祭のダンスを通して、仲間と協力することの大切さを学びました。ダンスを教えることやまとめることが初めての経験だったので、放課後や休み時間を使った練習では、うまく伝わらないことが多い、仲間と意見がぶつかり合い不安でした。それでもみんなが協力してくれたおかげでダンス委員がひとつにまとまりました。それから、2・3年生の女子全員にダンスを教える授業が始まりました。ここでもみんながまとまらず苦戦しました。しかし、一人ひとりがめげずに頑張る姿を見て刺激を受けました。当日は緊張しながらも私たちらしく全力で踊りました。終わった後、笑顔で「楽しかった」と話すみんなの姿を見て、ダンス委員のリーダーになって本当によかったなと思いました。周囲の助けがあり、大変なことも乗り越えることができました。中等部最後の体育祭は最高な1日になりました。



赤組 入場行進



白組 入場行進

## 協力した体育祭

1年A組 節政 顕人

僕は体育祭に参加して思ったことがあります。一つ目は、行進賞を取れたことです。最初の頃は、足の動きや足の高さなどがあまりわからずバラバラだったのですが、本番では声も出ていてそろったので、行進賞を取れました。発表された時はとても嬉しかったです。

二つ目は、リレーについてです。選抜リレーで、僕のチームは1位でした。僕は二走者目だったのですが、1位でバトンをもらい、そのまま三走者目の人に渡しました。正直、一番でもうよりも二番目ぐらいでもらった方が「気が楽だ」と思っていたので、とても緊張しました。でもそのまま逃げ切れてよかったです。

僕は、体育祭を通してクラスや他の学年との団結力が高まったと思います。理由は、同じ学年だけではなく他の学年のことにも応援していたからです。来年は新しい1年生を迎えるので、先輩として気を引き締めていきたいです。

## 体育祭の裏側

2年A組 森 萌穂美

初めての体育祭で体育祭実行委員は想像以上に忙しかったです。

体育祭実行委員の仕事の中には、ゴールテープ係や、走り終わった人の誘導がありました。その中でも特に大変だったものは、1年生の玉入れでの仕事でした。外れた玉を円の外に出す担当をしました。その仕事では何度も玉が当たるので、しおげていました。しかし、剣道部や同級生のバスケットボール部の男子にも手伝ってもらうことで、なんとかやりきることができました。やはり、事前に聞いていたように、競技よりも実行委員の仕事の方がくたびれました。

お昼休みに入り、少し休んだことで飛び跳ねるくらい元になりました。そのまま仕事を続け、部活動対抗リレーや全員リレーも終わり、最後のカラーコーンを片付けました。その時に、「働き者だね」という声を掛けてもらいました。一日中働いたことが報われる気がして、声を弾ませながら返事をしました。

来年の体育祭は新しい1年生も加わるので、今の1年生とも協力しながら、体育祭の裏側も伝えていきたいです。



# 学年だより 高2

## 体育移動授業<2年2・3・6・7・10組>

眩しい日差しの下、2年生になって最初の体育移動授業が行われました。今月号と次号の2回にわたり、その様子をお伝えします。今月号は、6月2日(水)に実施された2年2・3・6・7・10組の活動を報告します。

### 2組 大瀬 晴彦

2年生になって初めての大きな行事でしたが、バスの中から楽しく良い雰囲気でした。私はサッカーに参加しました。スポーツが苦手なクラスメイトに声を掛けたり、アシストをしている人もいて、楽しくスポーツをしている様子を見ることができました。クラスの仲が深まったとても良い時間でした。

### 3組 小林 邦光

今回の体育移動授業では、数少ない行事をみんなとも楽しんでやっていたと思います。このような行事が当たり前のようにできることは普通ではないので、いろいろな方々に感謝の気持ちを忘れず、普段の学校生活でも楽しく過ごせるようにしていきたいなと思いました。

### 6組 高橋 朱里

2年生になり初めての体育移動授業は、去年よりも楽しめた気がしました。クラス替えをして間もなくの体育移動授業でしたが、それらを通してクラスの仲がより深まったと思います。特にリレーが盛り上がり、応援も、走る側も楽しめたのではないかと思います。最後にクラス写真を撮る時には全員で変顔をしたりなど、だいぶ皆で盛り上がれたと思います。後期の体育移動授業も楽しみです。



### 7組 津賀 千里

2年7組では、エントリー決めからみんなで協力し合って、良いスポーツ大会になるように一生懸命になってメンバーを決めました。特に印象に残ったのは、終了した後にみんなで行った写真撮影です。みんなが1つになって作り上げたスポーツ大会の締めくくりにふさわしいと言える最高の笑顔がとても印象的でした。後期の体育移動授業でも、みんなが笑顔でいることができるよう、コロナがあっても楽しめる企画ができるといいなと思いました。

### 10組 福山 佳矢

僕は去年に引き続きスポーツ大会委員として活動してきました。去年とは違い、スポーツ大会委員も審判をすることになり、誤審をしないように気を付けるのがとても大変でした。僕が出た種目はサッカーで、チームの仲間が活躍しているところを見てとても嬉しい気持ちになりました。また、クラス全体で応援し合ったりする光景を見て、去年よりクラスの仲がさらに深まつたように感じました。

# 学年だより 高3

## 学年委員長から

今年度の学年委員長には3名も立候補してくれました。「どのような学年にしたいか」というテーマについてプレゼンを行い、3名がそれぞれ得意分野を生かして学年を先導してくれることになりました。

全体のまとめ役である委員長は3年5組の沼田心花さんに決まりました。

### 学年目標「らくさいはむ」

### 5組 沼田 心花

今期の学年目標は「楽最羽夢」です。

私たちは、「それが自分の考えを出し合うことで楽しく充実した一年にする」をモットーに話し合い、「高校生活の最後を最高な一年にし、それぞれの夢に向かって羽ばたいていく」という意味を持つ創作四字熟語に決めました。

この目標を実現するために、失われてしまった学校生活をできる限り取り戻し、緩んでしまった雰囲気を引き締める声掛けや、新しく決まった自分たちの未来へ向け、一人ひとりが希望を持ち羽ばたけるような楽しい学年づくりを目指していきます。

高校卒業後、一人ひとりが希望を持ち個性を輝かすことができるよう人間になるように、これから学年全体で取り組んでいきたいと思います。

## 体育移動授業

3年1・2・3・8・9組は6月1日(火)、4・5・6・7・10組は6月22日(火)に体育移動授業を実施しました。久しぶりの行事だったので、みんな嬉しそうな様子でした。



**お知らせ**

## 2021年度 第20回高校体育祭

●日時: **9月28日(火)**
※雨天時は授業日 予備日:10月5日(火)・15日(金)


●場所: **本校さいたま総合グラウンド**
埼玉県さいたま市浦和区大原5丁目4番

お詫びと訂正 | 『飛躍』7月号表紙の剣道部女子メンバーの名前の表記に誤りがありました。  
 誤「網島さん」→正しくは「銅島さん」です。お詫びし訂正いたします。

### 行事 予定

※予定が変更になる場合があります。

September **9**月

- 1日(水) 短縮授業 避難訓練
- 2日(木) 朝礼 短縮授業
- 4日(土) 後援会委員総会②
- 6日(月) 生徒による授業評価アンケート②
- 7日(火) 校医相談日⑥
- 8日(水) 専門医によるカウンセリング③
- 11日(土) 私学振興拡充第二支部大会(アリーナ)
- 14日(火) 前期期末試験(中等部:~16日、高校:~17日)
- 17日(金) 写生大会(中等部)
- 18日(土) 生徒自宅学習日
- 20日(月) 敬老の日**
- 東海大学オープンキャンパス(高2:湘南校舎)
- 21日(火) 答案返却
- 22日(水) 生徒自宅学習日(~24日)
- 25日(土) 短縮授業 保護者会①
- 保護者による学校評価アンケート
- 28日(火) 第20回高校体育祭(さいたま総合グラウンド、雨天時は授業日)  
授業日(特別時間割:中等部)
- 29日(水) 生徒自宅学習日

October **10**月

- 1日(金) 後期始業式 短縮授業
- 3日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会(高校)
- 4日(月) 学年集会①(高1) 塾教員説明会、5・6限カット(9/25分)
- 5日(火) スポーツ大会(高3:さいたま総合グラウンド)
- 第20回高校体育祭予備日(実施済みおよび雨天延期時は授業日)**
- 6日(水) 短縮授業 建学祭開祭式(7限)
- 7日(木) 建学祭準備(~8日)
- 9日(土) 第57回建学祭(~10日)
- 11日(月) 振替休日
- 12日(火) 建学祭閉幕式 短縮6時限授業 校医相談日⑥
- 13日(水) 5・6限カット(10/9分)
- 第20回高校体育祭予備日(実施済みおよび雨天延期時は授業日)**
- スポーツ大会予備日 雨天延期時授業日  
(高3:さいたま総合グラウンド)
- 17日(日) 私立中学・高等学校池袋進学相談会(オンライン実施)
- 22日(金) スポーツ大会予備日 雨天延期時授業日  
(高3:さいたま総合グラウンド)
- 25日(月) 生徒会立会演説会(1限 中等部:アリーナ、高校:放送)
- 30日(土) SSH成果報告会(特別時程)



### 編集 後記

新型コロナウイルスの影響で史上初の1年延期となった東京オリンピック・パラリンピックが、大逆風の中で開催された。振り返ってみると、コロナ禍での開催ということもさることながら、度重なる大会関係者の不適切な言動による「人災」の影響が大きかったように感じる。開催前から不安要素の絶えないことが続いていたが、実際始まってみるとそんなことを忘れてしまうほどの大活躍を日本の選手たちは見せてくれた。どのような状況下でも悲観的にならず、まっすぐ前を向いて突き進む先に道がある。アスリートたちから改めて学ばれた夏であった。(う)